

米田薬品工業株式会社

絶対積極の精神で、健康を通し、社会に貢献する元氣集団、OTC医薬品メーカー
「安全」「高品質」「優れた効き目」の医薬品づくりを通じて、発展し続ける企業へ成長

事業内容

時流に合った商品、消費者のニーズに合った商品の開発 GMPに準拠した高レベルの品質管理体制、ニーズを的確に捉えた研究開発力

当社は、配置薬の製造販売を生業として明治時代に創業。昭和28年に米田薬品工業株式会社として設立し、今年で65周年を迎える。現代表の米田常彦氏は5代目にあたる。風邪薬や栄養剤などのOTC医薬品や医薬部外品の製造販売を手掛けており、大手医薬品メーカーのOEM製品を製造する一方で、全国の薬局、薬店、ドラッグストアチェーンにPB(プライベートブランド)商品や自社ブランド商品を製造販売している。全国の薬局・薬店や大手ドラッグストアチェーンとのネットワークがあり、一般顧客のニーズを常に把握しながら研究開発投資に力を入れている。特に菌製剤(整腸剤)を手掛けている製薬会社は奈良県では当社のみとされる。

また、長年にわたり数多くの自社オリジナル製品やOEM製品の製造を展開してきたことで、薬品開発能力や製造技術力が高く、消費者の方々や得意先からの要望に迅速に対応できることが強みであり、一定の顧客基盤形成にもつながっている。同社製造のOTC医薬品は、効用を付加した上に価格的魅力もあり、近年は各部署のレベルアップ・合理化・効率化と、社員のスキルアップと人づくりと並行し、業績を伸ばしつづけている。



自社ブランドのOTC医薬品

外部人材活用・人材投資に注力した背景

外部人材を要所で活用しながら、社内人材の育成に注力 営業部門と開発部門の成長で競争力向上

米田氏は、当社の販売会社である「ケーティジャパン株式会社」を平成2年に設立し、代表取締役役に就任していた。配置薬市場の縮小による自社製品製造割合の低下などによって収益性の低下が顕著となったことから、経営の立て直しを図るために、平成21年に当社の代表に就任した。その際に「ケーティジャパン株式会社」を当社に吸収合併し、販売ルートも含めて引き継いだ形となった。

さらに全国のドラッグストアチェーンや薬局とのネットワークを拡大するために、営業力を強化する必要性を感じていた。そんな折、同業筋で活躍していた現在の常務取締役営業部長である営業マネージャーを迎え入れ、採用することとなった。大手ドラッグストアチェーンとのコネクションを持つ強みもあったことから、社長の右腕として活躍し、販売チャネルを拡大していった。得意先からの要望に迅速に対応できる体制を構築することができ、一定の営業基盤形成につなげることができた。

当社は、時流に合った、顧客基準を満たした開発機能が維持される様に、研究開発部門の人材も継続的に採用、育成している。PB商品、OTC医薬品の開発は、1年半~2年と商品化に至るまでの期間が短いために、専任の開発チームを設置し続ける必要がある。開発競争や市場環境に負けないように、人材育成機能を含めて開発部門を強化する必要があった。この10年で、研究開発および品質保証部門の人員は約2倍になり、現在24名の社員が在籍している。

また近年では、奈良県五条に工場を新設するなど業容・規模が拡大したこともあり、財務、人事面を中心にマネジメントが出来る人材が必要になった。このため、金融機関OBである外部経営人材に声をかけ、取締役副会長・総務部長として迎えた。財務はもとより、人事部門のエキスパートでもあり、社内の組織改革を行っている。

米田薬品工業株式会社

〒543-0056 大阪府大阪市天王寺区堀越町9-24
TEL: 06-6771-2670 FAX: 06-6771-2664
<https://www.komedayakuhin.jp>

〈代表者名〉米田 常彦
〈創業年月〉明治35年
〈資本金〉2,450万円
〈従業員〉120人
〈業種〉●医薬品・医薬部外品の製造・販売
●化粧品・健康食品の製造

外部人材活用の成果と今後の展開

長年にわたりPB・OEM製品を展開することで、高い薬品開発力や製造技術力を蓄積 菌剤市場の本格的参入で、さらなる成長を目指す

消費者の方々やドラッグストアチェーンのニーズに合致する製品を提供し続けるためには、窓口、調整役となる当社の営業部門は大きな役割を担うこととなる。当社は一般顧客のニーズを常に把握しながら研究開発投資に力を入れており、特に菌製剤(整腸剤)の開発に力を入れている。また、長年にわたり数多くの自社オリジナル製品やOEM製品の製造を展開してきたことで、薬品開発能力や製造技術力が高く、得意先からの要望に迅速に対応できることが強みであり、営業基盤を拡大することができている。

また、当社社長と取締役副会長・総務部長中心に様々な社内改革を行っている。組織活性化の一環として、風通しの良い組織を作ろうと、全社員を対象にヒアリングを実施するなど、従業員と経営陣の間を繋ぐ機能を構築し、新制度の導入などを推進している。

社内人材の育成にも力を入れている。当社社長曰く「弊社が扱うのは、元氣の薬。営業はもちろん、製造の社員も元氣でないといけない。」という趣旨で、「日本一元氣な」朝礼を毎朝行っているほか、モラル教育の一環として講師を招き、研修を行っている。モラロジーとは、「道徳」を表すモラル(moral)と、「学」を表すロジー(logy)からなる学問名であり、「感謝の心」「思いやりの心」「自立の

心」を育むことを目的として導入しているようだ。このような取り組みの結果、社員の離職率も下がったという。

今後は、従来通り既存得意先に対して自社オリジナルの医薬品の販売を主体とした展開に変わりはない。業界内での競争は激化しているものの、製造体制を増強することで、一段の業況拡大を図っていく方針である。

ビフィズス菌、乳酸菌、納豆菌などの菌剤にも引き続き力を入れていく予定であり、ソフト・ハード両面においてさらにレベルを上げていくための事業計画を着々とすすめている。そのために、人材の採用と教育にさらに注力している最中である。人を一から育てられる企業になっていくことで、自社の成長をさらに加速させていく。



代表取締役社長 米田 常彦氏



米田薬品工業株式会社 五條工場



「モラロジー生涯学習研修」の様子